

[ブーケ]

bouquet



日本めぐり

本連載では、日本各地で文化や芸術を支えているかたがたを取材します。

第7回は、北海道白老町の「ウポポイ（民族共生象徴空間）」を訪ね、
国立アイヌ民族博物館学芸員の押野朱美さんと、アソシエイトフェローの谷地田未緒さんに、
アイヌの芸能についてお話を伺いました。

第7回 北海道白老町

国立アイヌ民族博物館

押野朱美・学芸員 / 谷地田未緒・アソシエイトフェロー



押野朱美（おしの・あけみ）○右

国立アイヌ民族博物館学芸員、自身がアイヌ民族である。祖母と双子の妹とともにアイヌの歌・踊り・口承文芸などの芸能活動に幼い頃から触れている。現在は、博物館業務としてアイヌの芸能を専門に、芸能の継承についての研究や、教育普及活動の一環としてイベントの企画・実施等を行っている。また、江差追分会 苫小牧逸栄会支部に所属し、毎年開催される江差追分全国大会 決戦会にも選手として出場し、講師として江差追分の指導にもあたっている。

谷地田未緒（やちた・みお）○左

国立アイヌ民族博物館アソシエイトフェロー、大阪市立大学都市研究プラザ 特別研究員。北海道出身の和人。文化や芸術活動を通じたまちづくりや多文化共生、表現活動の担い手を応援するための制度や環境について研究している。



ウポポイ（民族共生象徴空間）全景（イメージ提供：公益財団法人 アイヌ民族文化財団）

ウポポイ（民族共生象徴空間）

〒059-0902 北海道白老郡白老町若草町2丁目3
営業時間 / 9:00～17:00

※営業時間は季節により変動します。
詳しくは公式HPをご確認ください。

閉園日 / 月曜日
年末年始（12月29日～1月3日）
※月が祝日または休日の場合は翌日以降の平日

ウポポイ（民族共生象徴空間）

公式HP



公式
YouTube
チャンネル



※ウポポイは入場予約制です。

※国立アイヌ民族博物館の展示室観覧を希望する方は、別途オンラインによる入館日時予約が必要です。

国立アイヌ民族博物館

公式HP



ウポポイ（民族共生象徴空間）は、アイヌ文化復興・発展の拠点として、
また先住民族を尊重した差別のない、多様で豊かな文化をもつ活力ある社会構築のための
象徴として位置付けられています。アイヌの歴史・文化をさまざまな角度から
伝承・共有するとともに、全ての人にアイヌの世界観、自然観を学んでいただけるよう、
必要な機能を備えた空間です。

ウポポイ（民族共生象徴空間）は、2020年7月に白老町ポロト湖畔にオープンしました。アイヌの世界観や歴史を学べる日本初の国立アイヌ民族博物館、アイヌの伝統芸能を体験できる体験交流ホールなど、複数の施設を擁するアイヌ文化復興・発展の一大拠点です。

日本は近代化の中で、アイヌ民族に対して文化的習慣や猟を禁止し、一方的に土地を国有化して移住を迫るなど、差別的な政策を敷いてきました。そのため、先住民族であるアイヌの生活や文化を維持することは困難になりましたが、そうした中でもアイヌ民族は、世界の先住民族とも協力しながら、差別の是正や文化の復興に取り組んできました。アイヌ文化の復興の担い手として、日々、文化継承に携わられている押野さんと、昨年博物館にいらした谷地田さん。アイヌの芸能を通して人々に伝えたい思いを語っていただきました。

アイヌの音楽

—— アイヌ民族とはどのような人々ですか？

押野：アイヌ民族は、北海道や東北、樺太（現サハリン）、千島列島にもともと居住してきた先住民族です。アイヌ民族と一言でいっても、生活や暮らし方にさまざまな地域差があります。

—— アイヌの芸能、とりわけ歌や踊り、楽器には、独特の文化があると伺いました。

押野：日本民謡や世界の歌や踊りと同様に、生活の中から生まれ育ったものが多いです。例えば、子守唄や杵つき歌⁽¹⁾など作業時の掛け声として歌われてきたものや、そのときの気分によって即興的に歌われたもの、大勢が輪になって歌い踊るものもあります。楽器には、ムックリ（口琴）やトン

コリ（五弦琴）などが挙げられます【写真①、②】。
—— アイヌの音楽にはどのような特徴があるのでしょうか？

谷地田：アイヌの言語学者である知里真志保氏は、アイヌの芸能を「踊り歌」「労働歌」「叙情歌」など、さまざまに分類しました。踊りと歌の境界線はすごく曖昧で、そこに明確な区切りはありません。「ウポポ」という言葉にもさまざまな解釈があって、現在は一般的に「歌」という意味で使われることが多いのですが、地域によって「座り歌」や「踊り歌」など、少しずつ意味が異なります。

押野：例えば、私の出身であるむかわ町を例に出しますと、子守唄にしても、家庭によって伝承されている歌がそれぞれ違います。私が歌い継いでいるものですが、同じ町内でも隣の家の人が歌うと、またちょっと違ってくるんです。



【写真①】ムックリ



【写真②】トンコリ
国立アイヌ民族博物館 基本展示室

(1) 穀物を臼に入れて数人で杵つきする際、リズムをとるために歌われる労働歌。むかわ町ではイウタウポポという。

(2) 祖父母の祖母。



【写真③】アイヌの芸能に関する文献

谷地田：技術的な面でいうと、「ウコウク(ukouk)」という輪唱で歌う形式が有名です。例えば、西洋音楽だと2拍遅れで歌い出すなど、ルールがはっきり決まっています。しかし、北海道博物館の甲地利恵氏によると、昔の音源では1.5拍目から入っていたり、ちょっと咳をしたから遅れて3.5拍目から入っていたりします。こういう歌い方は珍しいのですが、基本的なルールを共有しているので、ズレも含めて楽しく歌っています【写真③】。

押野：杵つきのときにも掛け声を輪唱することがあります。これは実際に体験したことがあるのですが、複数人で取り組む際、息が合わせやすくなるし、歌や掛け声が合わさると、作業がとても楽しくなります。なるほどなと実感しながら歌っていました。私が江差追分⁽³⁾の先生によく言われるのは、「楽譜はその音楽をゼロから始める人が見るためのものであって、ある程度歌えるようになった人が見るものではない」ということです。アイヌ民族の歌や踊りは楽譜や決まり事があったわけではなく、そのときどきの気持ちを歌っています。「このキーで歌おう」「このリズムやテンポで踊ろう」といった決まり事は、人前で披露するようになった近代以降に出てきたものだと思います。

(3) 信州の馬子唄^{まごうた}と伊勢松坂節の二つに起源があるとされる、江差に伝わる日本を代表する民謡の一つ。

(4) アジアの温暖湿潤地域に分布する竹の一種で、日本では函館以南の全域で見られる。

(5) ノリウツギと呼ばれるアジサイ科の落葉広葉樹の別名。



【写真④】ムックリを演奏する押野さん

—— 市井の暮らしの中には、芸能を観客に向けて披露するという文化がなかったのですね。

押野：人に見せるというよりも、暮らしや儀礼の中で自然に生まれたものですから。ただ、1984年にアイヌ古式舞踊が国の重要無形民俗文化財に指定されると、「アイヌ民族文化祭」など、芸能を人前で披露する機会も増えてきました。

アイヌの伝統楽器「ムックリ」「トンコリ」

—— アイヌの伝統楽器「ムックリ」と「トンコリ」について伺います。

押野：ムックリは、現在は多くがモウソウチク⁽⁴⁾という竹で作られていて、サビタ⁽⁵⁾が原料のものなどもあります。輪になった紐を左手の小指に引っ掛けて持ち、もう片方の紐を右手で引っ張ると弁が鳴る仕組みです。これを口腔に共鳴させて、舌の使い方や息の使い方で音色を変えます【写真④】。

—— (実演してみる) 簡単には音が鳴らないのですね！

谷地田：私は音が鳴るのに3か月ぐらいかかりました。その他に、息を吹いたり、倍音を使ったりする奏法もあります。



アイヌの伝統楽器にまつわる展示 松浦武四郎著『蝦夷漫画』(1859年) 国立アイヌ民族博物館 基本展示室

押野：ちょっとした唇の動きで音色が変化するので、音楽として表現するのに時間もかかります。単純ですが、とてもおもしろい楽器です。

—— ムックリは、こういった場面で使われることが多かったのでしょうか？

押野：文献が少ないため確かな情報は分らないのですが、遠く離れた場所にいる想い人のために奏でたとか、雨や風などの自然界の音、動物の鳴き声を表現しているとか、諸説あります。

—— 楽器の伝承にも地域差があるということですね。

押野：むかわ町では、ムックリは見たことがないです。私の祖母や家族も、ムックリやトンコリを知りませんでした。私がムックリを覚えたのは中学校に入る前後で、白老に演奏する人がたくさんいたので、むかわ町から通って教えてもらっていました。

—— 独特な音色のムックリですが、その音色のポイントはなんでしょうか。

押野：弁の根本の薄さで、吹きやすさ、音のよしあしが決まります。竹は水分を抜くために、一度油で揚げているんです。過去に阿寒で、サビタが原料のムックリを鳴らしたことがあるのですが、硬くて音が出ませんでした。竹は「ビョーン」と滑らかでのびのびとした音が出ますが、サビタは「ぼん」と硬めの音が出ます。

谷地田：竹の中でもモウソウチクはしなりがよいので、近年では北海道外の素材を取り寄せて作ることもあるようです。技術やパフォーマンス性の向上に合わせて、素材や製法が進化していくのは、音楽史的にみても自然なことですね。

—— トンコリも、木を彫って作られているということでしたね。

谷地田：トンコリは、樺太や北海道北部に伝わるアイヌ民族の伝統楽器です。共鳴板も木をくりぬいて作るので、音はそんなに響きません。子守唄や屋内に集まって歌を歌うときなどに使われていた楽器なので、もともと遠くまで響くように作られていないのだと思います。トンコリの第一人者として有名なのが、ミュージシャンのOKI氏です。トンコリをアンプにつなぐ現代的な奏法と、樺太出身のアイヌ文化伝承者である西平ウメ氏の伝承などを元にした伝統的な奏法の両方を駆使して、世界中で演奏しています。

【写真⑤】。

—— どのような構造なのでしょう？

谷地田：多くのトンコリには5本ないし6本の弦が付いていて、ギターのようなフレットはなく、開放弦を奏します。琴(竖琴)に近い構造です。



【写真⑤】アンプにつながったトンコリとOKI氏にまつわる展示 国立アイヌ民族博物館 基本展示室



国立アイヌ民族博物館

—— これらの楽器や奏法はどのように伝承されてきたのでしょうか？

押野：基本的に歌も踊りも楽器も、口承伝承で伝わってきました。それを文字や楽譜で伝えるようになったのは、最近のことです。

アイヌ文化を通して伝えたい思い

—— アイヌ芸能伝承の歴史において、異文化との交流により変化・発展したことは何でしょうか？

押野：個人的な経験ですが、むかわ町で近くに住んでいたおばあさんにヤイサマ⁽⁶⁾や子守唄を習っていた際、江差追分や馬方節⁽⁷⁾といった、他地域の民謡に似たりズムを感じることがありました。実際、その方はそれらの民謡をやっていたので、歌い方に影響を受けたところがあったのだと思います。歌や踊りは受け入れやすいものですし、アイヌの人たちもさまざまな地域の芸能に触れて、よいと思ったものをまねたり取り入れたりしてきたのではないかと思います。

—— 最近は、アイヌ語を第二外国語として専攻できる大学も海外にあるという記事を目にしました。

谷地田：日本人が思っている以上に、アイヌ民族の文化は国際的によく知られています。海外にもアイヌ語の研究者がたくさんいますし、オランダ、ドイツ、ロシア、アメリカなどの博物館には、アイヌ民族に関するさまざまなコレクションが所蔵されているんですよ。

—— アイヌ民族の歌や踊りを実演する際に、大事にされていることはありますか？

押野：祖母に練習でよく言われるのは「節を大切にしろ」ということです。「なんぼうまく歌ったって節が入らないことにはうまくない」と祖母や身近な人からはよく言われます。あとは情緒。悲しい歌を楽しく歌ってもしかたがないですね。そして何より、芸能が先祖や地域より継承された伝統ある文化であるということを肝に銘じ、その重要性を歌や踊りを通して人々に伝えられるようになりたいと思っています。

—— 最後に、アイヌ文化を通して、人々に伝えたいことを教えてください。

谷地田：この博物館はアイヌ民族の歴史や文化を伝えるための場所ですが、知識を知識として受け取るだけでなく、「自分はどうなんだろう」「あの人は？」「この人は？」と、自分のアイデンティティーや文化を相対化して考えるきっかけになるといいなと思っています。

押野：私は国立アイヌ民族博物館の学芸員として、アイヌ文化を広く知っていただくことを使命としています。アイヌ民族に関する配慮がないと感じられるような質問を受けることもあります。それは人々がアイヌのことをまだよく知らないからこそ出てくる疑問だと思います。アイヌの歌や踊り、私の家族にまつわるエピソードなどを通して、アイヌ文化と皆さんの文化との違いや共通点、そして、今に生きるアイヌ民族のことを広く伝えていきたいと思っています。



国立アイヌ民族博物館（基本展示室）
提供：公益財団法人 アイヌ民族文化財団

(6) アイヌの即興歌。 (7) 馬を引く際に歌う歌の節回しのこと。馬子唄。

上野耕平の crossing [クロッシング]

長野県上田市の上田駅から別所温泉駅までを全長11.6kmで結ぶ上田電鉄別所線。風光明媚な車窓が続く別所線は、令和元年東日本台風によって千曲川にかかる橋脚が流されてしまったが、昨年の開業100周年の記念すべき年に無事に全線開通。私自身もテレビ番組のロケで昨年初めて乗車した。北陸新幹線、しなの鉄道との接続駅、上田駅の片隅から発車し、ゆつたりとしたスピードで雄大な山々を望みながら田畑を縫って走るその姿は、とても愛らしい。

車両は元々東急電鉄で都会のラッシュを捌いていたものが編成を短くし、第二のキャリアを送っている。ゆつたりとした時の流れ……この列車に乗って温泉に浸かる。コロナ禍が去ったらまずしたいことのひとつだ。



文・写真：上野耕平（うえの・こうへい）

第28回日本管打楽器コンクール サクソフォーン部門において、史上最年少で第1位ならびに特別大賞を受賞。学生時代にCDデビューを果たす。2014年第6回アドルフ・サックス国際コンクールにおいて、第2位を受賞。常に新たなプログラムにも挑戦し、サクソフォーンの可能性を最大限に伝えていく。現在、演奏活動のみならず「題名のない音楽会」、「報道ステーション」等メディアにも多く出演している。第28回出光音楽賞受賞。昭和音楽大学非常勤講師。The Rev Saxophone Quartet、ばんだウインドオーケストラコンサートマスター。

Information

◇上野耕平コンサート情報はこちら。

<https://uenokohei.com/concert/>
(上野耕平オフィシャルホームページより)



編集部メモ

上田電鉄別所線は、上田駅を起点に計15駅、塩田平をS字を描くように進み、約30分かけて別所温泉駅まで運行している。沿線には史跡や寺院・神社などの観光名所や、大学の研究関連施設がある。かつての上田盆地には縦横無尽に鉄路が張り巡らされていたが、現在の鉄路はこの別所線11.6kmのみとなった。



第12回

上田電鉄別所線

上田駅で撮影

下之郷駅で撮影

One day, ワンデー ワンモーメント one moment

フォトエッセイ

写真・文：ヒダキトモコ
Photo・Text：Tomoko Hidaki

ヒダキトモコ

フォトグラファー。日本写真家協会(JPS)、日本舞台写真家協会(JSPS)会員。
米国で幼少期を過ごす。慶應義塾大学法学部卒業。人物写真とステージフォト
を中心に撮影。ジャケット写真、雑誌の表紙・グラビア、各種舞台・音楽祭の
オフィシャル・フォトグラファー。官公庁や経済界の撮影も多数。
<https://hidaki.weebly.com> Instagram:tomokohidaki_2

14 枚目

日本アルプスの夜明け

生まれて初めて日本アルプスに登ったのは、2015年の夏。山好きの高校時代の仲間に誘われ、挑戦したのは燕岳つばきだけ。山小屋に泊まるのも、まだ暗いうちに毛糸の帽子やダウンを着込んで、寒さに震えながら日の出を待つのも、新鮮だった。

胸いっぱい広がっていく。色づく空を夢中で撮っていると、すぐ脇で沢山のひとたちが同じ空を見つめていた。空も山も本当にいいが、それを見つめている人たちも、なんだかとてもいいと思った。

人や生き物の気配を感じられる自然写真に、それ以来、惹かれていく。なぜか切ないような嬉しいような不思議な想いが





中嶋 深雪（なかじま・みゆき）
船橋市立中野木小学校 教諭
人権擁護委員
元 千葉県音楽教育研究会 副会長
元 船橋市小中学校音楽教育研究会 会長
元 船橋市立海神小学校 校長

本連載では、学校長を務められた先生が、これまでに学校で児童生徒に語り届けた講話をご紹介します。

第11回は、千葉県船橋市の中嶋深雪先生が海神小学校で話した校長講話です。先生はコロナ禍の中でも、児童に伝えるべきメッセージを、工夫して届けられてきました。その中から、朝会と前期終業式の講話を2つご紹介します。中嶋先生は令和3年3月に退職された現在も、音楽専科として教壇に立たれています。

第11回 中嶋深雪 先生（元 船橋市立海神小学校 校長）

こころの支度 ～世界にたったひとりだけの自分をつくるために～

新元号が令和となり、今まで以上に夢と希望を抱いたのも束の間、未曾有の新型コロナウイルス感染症が世界中を襲い、本当に制約の多い数年間となりました。

今まで過ごしてきた、当たり前前の生活がこんなにもすばらしいかけがえのないものだったことを痛感しながらも、どんなときも明るく元気に伸び伸びと学校生活を送る子供たちの生きる力に感動した日々。

そのような中、いつも子供たちの心に届くよう、いろいろなメッセージを発信するよう心がけました。絵本や詩の読み聞かせを通して、子供たちの心にあたたかい力があふれてくるように。しっかりと前を向いて自分の力で一歩ずつ進めるように。この講話は、子供たちが自分を見つめなおし、自分に気づき、自分の大切さと責任を感じてもらう話にしました。

どんな逆境にも立ち向かえる、世界にたったひとりだけのかげがえのない自分をつくるために……。



入学式

こころの支度 ～世界にたったひとりだけの自分をつくるために～ 9月の朝会の講話

短かった夏休みが明けてから2週間。8月後半のサマータイムの学習が終わりました。暑さと感染予防に注意しながらも、元気いっぱいにごさすることができています。海神小学校の子供たちは本当にすばらしいです。

今日からまた、45分授業が再開します。9月になっても暑さが続きます。台風も多くなる季節です。安全に気をつけ、友達と仲良く、しっかりと学習していきましょう。

さて、今日は皆さんに「問題」を出します。

黒板に問題のプリントを貼っていただきます。先生方お願いします。

（ ）は
わたしを
つくっていく
責任者

責任者というのは、自分がどんな人になるか、最後まで責任をもって見守る人のことです。

さあ、（ ）にはどんな言葉が入るでしょうか？ お父さんでしょうか。お母さんでしょうか。先生でしょうか。

それとも他の言葉が入るのでしょうか。心の中で考えてみてください。

皆さんは、自分の夢や希望を叶えるために、お父さん、お母さん、先生方という、周りのたくさんの大人たちにいろいろな事を教えてもらっています。いろいろな事を学び、経験しながら、世界にたったひとりだけの「自分」をつくっていきます。今は丁度その途中です。

やがて将来、皆さんは大人になり、自分で働いて生活することができる力を身に付け、自立する日が来ます。でも、今も、これからずっと、自分である「わたし」は、世界にただひとりです。

どんな自分にしていくのか、自分をつくっていくのは皆さんひとりひとりです。

なので、（ ）に入る答えは「わたし」です。「自分」でもいいですね。

「わたしは わたしを つくっていく 責任者」です。

今はたくさん学び、たくさん吸収して、お友達と関わりながら、世界にたったひとりの自分を大切に、しっかりとつくっていくてください。これからも皆さんの成長を、校長先生は楽しみにしています。



Zoomを使用しての朝会



朝会で手を挙げる児童たち

前期終業式

今日で、海神小学校の前期が終わります。いろいろな制限のある中、皆さんは本当によく頑張りました。

9月の校長先生のお話を覚えていますか。「世界にたったひとりだけの自分」というお話です。自分の責任者として、これから、ふり返りをしてみたいと思います。

いくつか質問します。できたと思った人は、黙って手を挙げてくださいね。

—では、1問目。

◎いろいろな場面であいさつはできましたか。

「校長先生、おはようございます」とか、「教頭先生、おはようございます」とあいさつする人の名前を呼んで気持ちの良いあいさつができる子がたくさんいました。とてもすばらしいことです。でも、こちらからあいさつしてもあいさつを返せない人もいました。そんなときは、「この子はどうしたのかな」と心配になりました。

あいさつは、「あかるく」「いつも」「さきに」「つづける」ことが大切です。言われてからするのではなく、自分から先にあいさつできる子にぜひなってください。

—2問目です。

◎集中して学習しましたか。

校長先生が教室をまわっていると、とても集中して学習している子がたくさんいました。すごいなあと思いました。でも、もう少し集中してほしいという子もいました。さあ、自分はどっちでしたか。責任者として、しっかり自分をふり返ってください。

—3問目、最後の質問です。

◎友達とは仲良く過ごせたでしょうか。

友達と過ごすのは、学校生活でとても大事な時間です。自分がされて嫌なことは、絶対にしない。自分が嬉しいことを友達にしてあげるといふ、人との関わりを学んでいくことは、大人になるための大きな勉強です。これからも、友達を大切に、仲良くしていきましょう。

たくさん手が挙げられた人、少しだけの人、いろいろな人がいました。自分が決めたためあてや、学校での約束ができているかどうかについて、時々こうしてふり返ってみると良いと思います。そして、後期も友達と仲良くして、自分の良いところをたくさん伸ばしていきましょう。また、わからないことは何でも先生に聞いて楽しく学習も進めましょう。

さあ！こころのスイッチを入れる準備はできましたか？

後期に向かってスイッチON!!

令和3年3月退職後、少しでも現場のお役に立てればと、4月より音楽専科として3年生と6年生の12クラス、約400名と音楽の学習を行っています。充実した毎日ではありますが、「歌えない」「演奏できない」というコロナ禍での音楽学習を目の当たりにして、子供たちが音楽の基礎・基本をしっかりと身に付け、心から楽しめる学習はどうあるべきか、試行錯誤は続きます。

海神小学校在職中には、船橋市の36年ぶりの新設校（塚田南小学校）の校歌を制作する機会をいただきました。世界中がコロナと懸命に戦い、先の見えない日々の中でした。それでも私たちは生きている。今この瞬間を大切に毎日を過ごしてほしい。生きていることの大切さを感じる校歌にしたい。そう考えていたら、「いま 今を生きる 塚田南小学校」というフレーズが浮かびました。このような機会をいただけたことに心より感謝しております。そして、このような時代だからこそ未来を信じ、希望をもって輝く世界に向かう子供たちを育てていきたいと心から願います。

船橋市立塚田南小学校 校歌

作詞・作曲：中嶋深雪・伊井大起

1 みどり 広がる 校庭に
希望の風が 吹いている
さくら ひまわり かざぐるま
みんな みんな 手を取り合って
輝く光 つくるんだ
いま 今を生きる 塚田南小学校

2 清く きらめく 学び舎に
希望の声が あふれてる
勇気 笑顔 優しい心
みんな みんな 肩寄せ合って
輝く世界 つくるんだ
いま 今を生きる 塚田南小学校

3 元気 いっぱい 夢追いかけて
希望の虹を えがいてる
大地 青空 伸びゆく心
みんな みんな ^{ひとみ} 瞳合わせて
輝く未来 つかむんだ
いま 今を生きる 塚田南小学校



— SDGs 特集 —

Think Globally, Act Locally

Vol. 3

子どもたちに自由な遊びを

岩丸明江

NPO法人GGPジェンダー・地球市民企画
代表理事・ワークショップ・コーディネーター

“Think Globally, Act Locally”——地球規模で物事を考え、身近なところから行動を起こす——。

よい未来をつくっていくために、私たち一人一人にできることは何か？

この特集では、さまざまな分野の方にお話を伺いながら、そのヒントを探ります。

第3回は、ジェンダーや人権などをテーマに活動するNPO法人GGPより、
プレイセンターを運営する岩丸明江さんにご登場いただきました。



Profile | 岩丸明江 (いわまる・あきえ)

北九州市民活動サポートセンタースタッフ、北九州市立男女共同参画センター・ムーブ人権相談員などを経て、現在NPO法人GGP（ジェンダー・地球市民企画）[平成16年5月7日認証]代表理事とワークショップ・コーディネーター、NPO法人北九州子育て・親育ちエンパワメントセンター「Bee」理事、北九州市総務市民局地域振興課 地域づくり専門家登録などを務めている。

大人が協力してつくる「遊びの場」

——岩丸さんは「プレイセンター・元気キッズ」を運営されていますが、プレイセンターとはどのような場所なのでしょう？

岩丸：プレイセンターとは、児童福祉、幼児教育先進国と言われるニュージーランドで1941年に発祥した子育ての仕組みです。コミュニティみんなで助け合いながら子育てをする活動で、生涯教育の柱の一つになっています。私たちのプレイセンターでも、子どもの自由な遊びの環境を支える活動を、保護者たちが自主運営しています。ニュージーランドでは70年以上の歴史があり、公的にも認められた活動ですが、日本にはまだ19か所しかありません。そのうち4か所が北九州市にあるのは、2つのNPO法人の活動支援の効果ともいえます。

——プレイセンターでの教育指針はありますか？

岩丸：ニュージーランドには「テファリキ」という幼児教育指針があり、「子どもは保育園、幼稚園の中だけで成長するのではなく、家族や地域コミュニティの中で育つ」「その子の発達段階に応じて、子どもを『有能な学習者』として、子ども自身の力で、生きて行く力を付けていけるように、大人がそのときに応じた環境や機会を提供する」という内容が示されています。私たちの活動の目標は、子どもも大人も楽しみながら、共に成長することです。その成長が、地域のソーシャルキャピタル（社会関係資本）に結びつくと考えており、0歳から6歳の子どもには「自分で選ぶ遊び」の場を、保護者にはプレイセンターの運営実践や学習機会の場をつくります。

——保護者も学ぶ場なのですね。

岩丸：テファリキには、「Parents as first Teachers（子どもにとって最初の教育者は親）」という理念があり、

親が育つ可能性も信じています。子どものために活動環境をつくるとともに、大人たちがプレイワーカーとして成長することも大切だと考えています。

——プレイセンター・元気キッズへの入会は誰でもできるのですか？

岩丸：定員に空きがあり、理念を承諾していただければ、どなたでも入会していただけます。毎週金曜日、地域のコミュニティセンターで活動しており、会費は1か月1,500円です。➤



遊びのセッション（木のおもちゃ）（2021年）

活動の振り返りと共有

——入会后、まずどのような活動から始まるのでしょうか？

岩丸：保護者に話を聞くことから始まります。そのうえで、その方に必要な学びの機会を用意します。また、外遊びの大切さを漠然と理解している保護者は多くいますが、その遊びの意味や意図を正しく理解している方は多くありません。まずはそれらを明確にするところから始まります。

——大人の学びから始まるのですね。教材などはあるのでしょうか？

岩丸：ニュージーランドでも使用される初級編のテキストを用います。例えば、「朝、プレイセンターにやっ

——プレイセンターでは「先生」という立場の方はいるのでしょうか？

岩丸：「先生」ではなく、「スーパーバイザー」が利用者を黒子のようにサポートしています。利用者である保護者の中にも、スーパーバイザーの資格をもっている人は何人もいますが、みんなが平等に関われるように、保護者の資格の有無は公開していません。資格取得には通信教育で1万5,000円かかりますが、日本プレイセンター協会の助成なども得て、私たちの団体では約4,000円で取得できます。



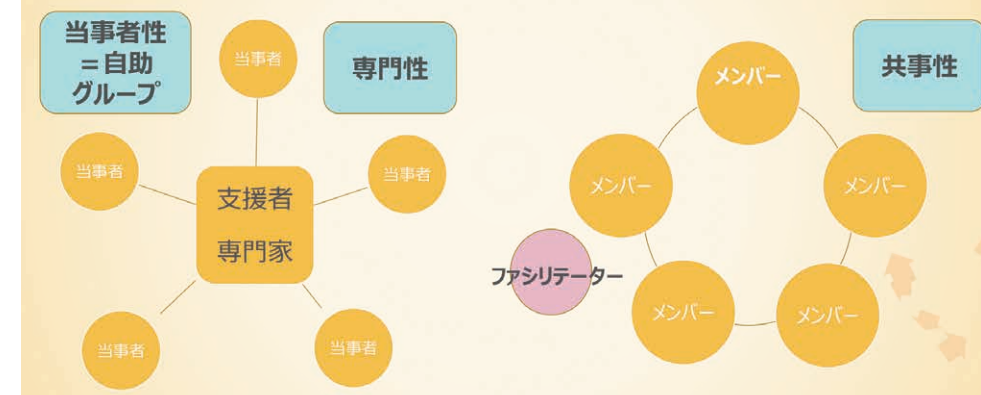
保護者による「学び合いの場」（2020年）

てきて、ひとしきり周りと話しました。自分の子どもはきげんよく遊んでいます。そのあとあなたは、遊び場にどのように関わりますか？」といったケーススタディがあります。実際にそのように保護者に問いかけると、新しく入った方は少しとまどう様子ですが、ずっと通っている方からは「寝ている赤ちゃんを見にいく」「使い方が分からないおもちゃに困っている子を助けにいく」「大人は積極的に介入しない」などさまざまな意見が出てきます。それらを共有することで、新しく入った方は、見守り方や遊びの場を肌で感じていくわけです。

——体験の中で学べるのですね。

岩丸：教育の支援について「学びのスタイルからみる、支援者の立ち位置」を考えると、子どもについての悩みのある保護者の方にとっては、専門家から学びを得る

学びのスタイルからみる、支援者の立ち位置



【学びのスタイルからみる、支援者の立ち位置】

ことも大事ですし、「当事者性＝自助グループ」が非常に重要です。右側の「共事性」は、「時」でなく、「事」とあえて書いていますが、これは営みと体験を共有して、その中から大事なものを全員で把握していくことを意味しており、プレイセンターの活動はこちらに該当します。

―活動で大切にされていることはありますか？

岩丸：振り返りです。保護者が遊びや環境を観察して、その日の体験を振り返り、子どもの変化を全員で共有することで、気づきを得たり価値観が育成されたりします。

―どのような方法で振り返りを行うのですか？

岩丸：その週の振り返りをメーリングリストで保護者に呼び掛けて、集まった意見をまとめて日誌にし、共有



芋の苗植え（2020年）

します。忙しい方や体調の悪い方はパスでかまいません。「実は同じ日の同じ場所で、こんな遊びが展開されていたんだ」と、自分の知らなかった場面も共有できるので、安心して活動を継続することができるんですね。

―負担のないように配慮して、共有されているのですね。今はコロナ禍ですが、活動に影響はありますか？

岩丸：2020年4月に3週間休みましたが、それ以外は外遊びを多くするなど工夫して、定例的にみなさんが会える場をつくり続けています。小児科医会のアドバイスに則って、少人数かつ決まったメンバーで保護者同士の了解が得られているため、安全な遊びがつくりやすいのです。



芋掘り（2020年）

子どもも大人も成長する

―プレイセンターに参加される保護者は、男性と女性どちらが多いですか？

岩丸：活動日が金曜日ですので、どうしても母親である女性が多くなります。ただ、土曜日や日曜日の活動では、お父様たちもいらっしゃいます。

―保護者の方からは、どのような反応がありますか？

岩丸：「異年齢の交流ができる」「子どものやりたいことを大事にもらえる」「親身になって話を聞いてもらえる」「リフレッシュできて、子どもと向き合いたい気持ちがアップする」など、うれしいご意見をいただいています。

―ふだんの生活にもよい影響があるのですね。保護者の方から相談を受けることはあるのでしょうか？

岩丸：たくさん受けます。子どもの発達、ご家族の問題、ご自身のキャリアの話や、起業に関する相談まで。

―相談を受けるときに大切にしていることはありますか？

岩丸：そうですね……。私は以前に男女共同参画センターでDV相談員もしていたので、「聞く」という仕事はたくさんしてきました。大切にしているのは、絶対に否定しないことと、その方の気持ちを大切に感じることです。客観的に判断するのではなく、その方の

立場になり切り、置かれた状況をどう受け取ったのかを考えます。

―プレイセンターは子どもの遊び場であると同時に、大人を支える場でもあると感じました。

岩丸：ここは、否定し合わず、個々の感じ方を大切にする相互尊重の学びの場です。子どもは、小さいうちはたくさん喋りませんが、成長すれば言葉も増えます。大人にはその言葉をしっかり聞いてほしいんです。そのためにも、大人自身の話す力や聞き合う力が育まれたらいいな、という思いがあります。

―岩丸さんは、これまでも家族や女性を支援するようなお仕事を多く行われてきましたが、何かきっかけはあったのでしょうか？

岩丸：私自身が子育てをしていた頃に、女子が運動会の短距離走で男子を追い抜かしたことがありました。すると、それを見た近くの保護者が「男の子が女の子に抜かされてかわいそう」と言いました。1990年代のことです。「なぜそう思うのだろう」と私は感じました。今でこそLGBTと言われる時代ですが、ほんとは昔から、戦うことが好きではない男の子も、同調することが苦手な女の子もいるはずです。そう思ったときから、いきいきと個性を尊重できる場を求めて、北九州市の女性センター（現在は男女共同参画センター）で、さまざまな講座を受けました。そこで出会ったあるファシリテーターの方の講座に感銘を受けて、今の活動を目指したのです。

―このお仕事のやりがいを感じるのは、どのようなときですか？

岩丸：継続的に同じ方々と関われることです。1つのテーマや目標にみんなで取り組みますので、ワークショップも思い切ったことができる。子どもたちのめざましい成長を見ることができるのも楽しいですが、大人たちの成長もうれしいことです。ある保護者の



ふれあい文化祭（2017年）

方からは「このプレイセンターに来なかったら、一人で思い詰めていた」と言ってもらえたことがありました。一見、余裕があるような保護者の方でも、実際はそうでないことはよくあります。人の成長や変化の場に立ち会えることが、私のやりがいです。これからも、プレイセンターを増やしていきたいです。



マーブリングの活動（2020年）

SDGs とは？

Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の頭文字を取ったもの。

2030年までに貧困や飢餓、福祉、教育、エネルギー、気候変動、平和的社会等の課題に対して解決策を見だし、持続可能でよりよい世界を目指すための国際目標です。国連サミットで決められた17のゴール・169のターゲットで構成され、地球上の誰一人として取り残さないことを誓っています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



Contents

- 04 [連載] 日本めぐり 第7回 押野朱美 谷地田未緒(国立アイヌ民族博物館)
- 09 [連載] crossing 第12回 上野耕平
- 10 [連載] フォトエッセイ One day, one moment 14 枚目 ヒダキトモコ
- 12 [連載] 次代につなぐ 校長先生の講話 第11回 中嶋深雪
- 16 [連載] SDGs 特集 Think Globally, Act Locally Vol.3 岩丸明江(プレイセンター・元気キッズ)

編集後記

『bouquet[ブーケ]』No.14をご清覧いただき、ありがとうございます。
今号の「日本めぐり」は北海道白老町^{しろおい}です。
2020年にオープンしたポロト湖畔の
ウボボイ(民族共生象徴空間)を訪ねました。
ここには、充実した展示のほか、
実際にアイヌの伝統を体験できるさまざまなプログラムが用意されており、
あっという間に1日が過ぎてしまいます。
取材では、国立アイヌ民族博物館の方々に、
アイヌ民族の伝統芸能について詳しく伺いました。
お忙しい中、取材や執筆、編集にご協力賜りました全ての方に、
心より厚く御礼申し上げます。

staff

Art Direction & Design(表紙・本文): 中澤美羽
写真提供: (公財)アイヌ民族文化財団
DTP: 清新社 / 印刷: 新日本印刷
製本: ヤマナカ製本

No.14

<https://www.kyogei.co.jp/>